

# TLIFES とスマートフォンに対する 高齢者の抵抗感と期待感の調査

070427296 小菅泰知  
川澄研究室

## 1. はじめに

スマートフォン(以下スマホ)を使った生活支援システム TLIFES(Total LIFE Support system)を開発している。TLIFES は、スマホを通じてユーザの様々な状態を検出しサーバへ蓄積する。ユーザはサーバにアクセスすることでいつでも情報を閲覧できる。このサービスは、全てのユーザがスマホを持つことが前提となるため、高齢者もスマホを持ちたい・触りたい・使いたいと感じる魅力を作る必要がある[1]。そこで本研究では、TLIFES とスマホに対する高齢者の抵抗感や期待感などを具体的に調査する。

## 2. 調査方法

被験者に TLIFES の概要を説明したあと、スマホや TLIFES のサービスに対して抵抗感・期待感などをヒヤリングをした。調査項目を表 1~2 に示す。被験者として長久手市シルバー人材センターにて 60~80 代(携帯無所持 5 名, 携帯所持 19 名, スマホ所持 1 名)の 25 名に協力いただいた(図 1)。

表 1 スマホの調査項目

高齢者の分類	質問項目
携帯電話を持っていない	持っていない理由
携帯電話を持っている	使う機能, 困っていること, スマホを使っていない理由, スマホへの抵抗感,
スマホ持っている	スマホへの抵抗感, 新しい使い方への興味, 使う機能, 困っていること
全員共通	スマホを持ちたくなるには, 使用したい機能

表 2 TLIFES の調査項目

調査項目	質問項目
TLIFES 全体について	TLIFES のサービスへの抵抗感, 抵抗感を感じる理由 TLIFES のサービスへの興味・期待, 興味・期待を感じる理由



図 1 実験風景

## 3. 調査結果

TLIFES は抵抗感を持たない人は約 60%で、期待感を持つ人は約 80%という結果が得られた(図 2)。また、スマホは特に地図・ナビ、万歩計、健康情報、運転情

報に興味が高く、約 60%の人が抵抗感を持たないことが分かった(図 3~4)。TLIFES とスマホに対し抵抗感を持つ理由については、「悪用されないか」などのセキュリティ問題、「家族以外に情報を見られたくない」といったプライバシーの問題の他に、「文字が見えない」「アイコンが分からない」「何を押しばいいのかわからない」「操作が分からない」「携帯で十分」などの意見が多く寄せられ、今後のインタフェース設計に向けての具体的な課題が得られた。

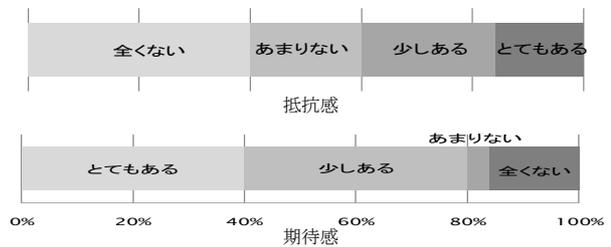


図 2 TLIFES に対する抵抗感と期待感

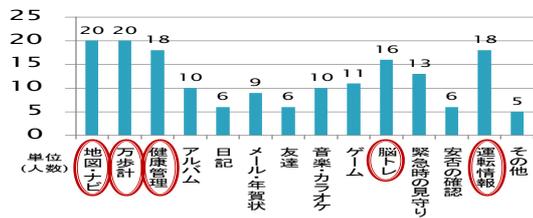


図 3 スマホで興味ある機能

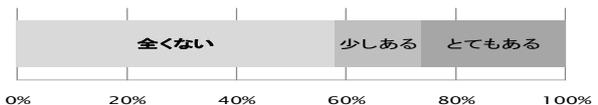


図 4 スマホに対する抵抗感

## 4. まとめ

被験者の約 80%がスマホに興味を持ち、約 80%が TLIFES に期待していることなどがわかり、こうしたシステムを構築する必要性や重要性を確認することができた。しかし一方で問題点も抽出され、特に画面の見やすさや操作のしやすさの点で高齢者にも使いたいと思われるようなインタフェースを具体的に設計する必要性を強く感じた。

### 参考文献

[1]杉本佳優, 榎富雄: “スマートフォンにおける高齢者向けユーザインタフェース設計の取り組み”, INTEC TECHNICAL JOURNAL, vol.12, pp36-43, (2012)